

第12回

日本リビングウイル研究会

緩和ケアの現在 ー 痛み苦しみにどこまで対処できるか

～痛み苦しみから死を望む人がいなくなることを願い～

日時

2023年

12月9日(土)

13:00-16:30

場所

東京大学伊藤国際学術研究センター-伊藤謝恩ホール(文京区本郷7-3-1)
オンライン(ウェビナー)同時開催

参加費

無料

申込み

現地参加: 予約は不要です。直接会場にお越し下さい
オンライン: 協会ホームページからお申込み下さい

13:00～15:30 講演

第1部



秋山 正子

訪問看護師、マギーズ東京共同代表理事、暮らしの保健室室長



小杉 寿文

佐賀県医療センター好生館緩和ケア科部長



長尾 和宏

日本尊厳死協会副理事長



三浦 靖彦

岩手保健医療大学教授、東京慈恵会医科大学客員教授



弓野 大

ゆみのハートクリニック理事長

第2部

15:40～16:30

パネルディスカッション



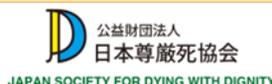
満岡 聰

コーディネーター、日本尊厳死協会理事

公益財団法人 日本尊厳死協会

TEL:03-3818-6563

URL:<https://songenshi-kyokai.or.jp/>



痛み、苦しみは私たちの当たり前の日常の営みを奪い、尊厳を脅かします。人生の最終段階で、自然の摂理に従って安らかな最期を迎えるために延命措置は断っても、痛み、苦しみを取り除く緩和ケアは必要です。

そもそも緩和ケアとは何なのか、どうすれば受けられるのか、どこまで身体や心は楽になるのか...

専門家の方々から知識を得て、いざという時に備えましょう！

患者さん一人ひとり、それぞれの痛み苦しみを正確に誠実に受けとめ医療に繋ぐ仕事を通して、皆さまにお伝えしたいアドバイスをお話します。

町のかかりつけ医として大勢の患者さんの痛み苦しみに耳を傾け、どう対応してきたかを報告します。



さまざまな痛み苦しみは緩和ケアでどこまで取れるのか、さらに痛み苦しみを医師に伝える際のポイントをお伝えします。



亡くられる原因の1位はがんで、その次が心不全によるものです。あまり聞きなれない心不全による苦痛とはどういうものか、どのように対処するのかをお話します。



非がんの苦痛、特に腎不全の症状のコントロールを中心に、生活の質の向上のために患者さん自身が医師とともに何ができるか、一緒に考えましょう。